

「ステパノの殉教」 使徒行伝7：1～60

目標：ステパノの生涯を追うことを通し、教会史上初の殉教について知り、イエス様のように生きる生涯の尊さに触れる。

聖句：『主よ、どうぞ、この罪を彼らに負わせないでください。』こう言って、彼は眠りについた」（使徒4：12）

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：当教会は本日の御言は、先週は大人の礼拝に合流したので、前時の箇所に触れていない。前時の箇所分と併せ、ステパノの生涯をまとめて扱う。

| 段階   | 時間 | 教師から   | 子供に予想される反応   | 備考  |
|------|----|--|--|---|
| 課題確認 | 2分 | ステパノと言う人を聞いたことがありますか。<br><br>どういう人ですか。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>知っている</li> <li>知らない</li> <li>御霊に満ちた人</li> <li>知恵に満ちた人</li> <li>評判の良い人</li> <li>教会の配給を行う人</li> </ul> | ステパノの人となりは前時の内容である。本時の前提として、ここで押さえておく。  |
| 課題探究 | 6分 | ステパノさんは、教会の役員さんのような人でした。<br><br>今日はこのステパノさんについて学びます。<br><br>ステパノさんは、イエス様が救い主であると示す様々の奇跡とするしのわざを行っていました。<br><br>ステパノは、みんなイエス様を殺した罪人なのだとすることを旧約聖書全体から語りました。<br>聞いた人々はどうしたと思いますか。<br><br>怒った人々は、ステパノに石を投げ続け、殺してしまっただけです。<br><br>亡くなる直前、ステパノは自分を殺す人たちのためにとりなしをし続けました。<br>この死に方は、誰かと似ていませんか。<br>このように、イエス様を信じているために殺されることを、殉教と言います。<br>私たちに福音が伝わるためにも、多くの方が、このように命をなげうってくれたことを、覚えてほしいと思います。<br>イエス様の福音を伝えることは、命を懸けてもいいほど、素晴らしいものなのだと思います。<br>暗誦聖句 | <ul style="list-style-type: none"> <li>怒った。</li> <li>イエス様</li> </ul>   | <p>知っているならばこの問いを行う。知らなければ、教師側から提示し、板書する。</p> <p>ステパノは、今ならば普通の信徒役員であることが確認されればよい。すなわち何か特別な献身者ではないのである。</p> <p>6：8以下から、あらすじを押さえる。内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イエス様のような奇跡とするしのわざ</li> <li>逮捕、告発</li> <li>ステパノの弁明(メッセージ)</li> <li>石打のものと殉教</li> <li>着座されたイエス様が立ちあがっておられた。</li> </ul> <p>ステパノのメッセージについては、救済史概観ともいえる内容で、子供には難しいと思われるため割愛する。これは恐らく出てくると思う。</p> <p>感想は聞かなくてよいが、反応は、よく観察しておくこと。驚かないようであれば、教師の提示が届いていないことになるからである。</p> <p>7：59、60の御言をそのまま提示してよい。教師は暗誦して臨みたい。</p> <p>あえて自分に御言葉を適用させることはしなくてよい。着座されたイエス様がこの時立ち上がっているのは、ステパノの最後を、応援しているからと考えられている。</p> <p>流れの中で、ホーリネス弾圧(6月26日)のことに触れても良い。</p> <p>185号のテーマからの反映。</p> |
| まとめ  | 2分 |  |  |   |